

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月27日更新

事務事業名	市道舗装事業		<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連		
総合 計画 体系	政策	5 都市基盤の健康	所属部	事業部	課長名 中村 公彦		
	施策	24 計画的な道路の整備	所属課	建設課	担当者名 緒方 寿雄		
	施策の柱	67 道路環境の整備	所属班	工務班	(内線) 2242		
予算科目	会計 一般	款 8	項 2	目 3	事業連番 11509	根拠 法令	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑩
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市道の舗装打換を施工する事業で、生活道路の充実・拡充を図るため、合併後から事業を区分した。各路線は通学路・生活道路であるが路面の痛みが著しく通行者に支障をきたしていたため、舗装打換を実施するものである。合志市舗装維持管理計画に基づき年度毎に路線を選定、施工している。
【業務の流れ】	関係機関協議、測量設計、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払
【主な予算費目】	工事請負費
【意見や要望】	地域住民及び道路利用者から道路舗装打換の要望がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO) 関係機関協議、測量設計、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払	関係機関協議、測量設計、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) → ア: 施工延長(当該年度)	(単位) 予算の主な増減の理由 これまで継続的に行ってきた団地内舗装や地元要望に加え、平成28年度より合志市舗装維持管理計画に基づき新たに市道舗装事業を展開することに伴い事業費の拡充が必要となった。なお、建設課中長期計画において社会資本整備総合交付金事業、市道改良事業、市道舗装事業の3事業の中で平準化を図っている。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市道(H24年度以降、毎年新規認定分500mを延長する)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア: 市道総延長 m
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 破損箇所がなくなり、スムーズな通行ができる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア: 整備率 %
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 H28~H32年度の5年間の目標施工延長を36,145mとする。事業進捗により整備率がわかる。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	26年度	27年度	28年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア m	2,925	1,058	7,184	6,160	7,015	8,046	8,327	8,000	
② 対象指標	ア m	426,783	427,538	428,000	423,372	428,500	428,900	429,300	429,800	
③ 成果指標	ア %	100	104	20	20	40	60	80	100	
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円	14,100			215,500	190,000	190,000	190,000
		その他	千円			100,000				
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	75,910	53,187	97,100	190,652	32,740	10,000	10,000
		(A) 事業費計	千円	90,010	53,187	197,100	190,652	248,240	200,000	200,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	10	10	10	10	10	10	10
(B) 人件費計	正規職員従事人数	人	10	10	10	10	10	10	10	
	延べ業務時間	時間	3,759	3,809	4,458	3,450	4,458	4,458	4,458	
	(B) 人件費計	千円	14,975	14,142	17,760	0	17,760	17,760	17,760	
トータルコスト(A)+(B)	千円	104,985	67,329	214,860	190,652	266,000	217,760	217,760	217,760	

事務事業名	市道舗装事業	所属部	事業部	所属課	建設課
-------	--------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 舗装維持管理計画により計画的に事業を進める。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果は事業が完成しないと発揮できない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市道整備においては、庁舎内でも建設課のみ施工しており類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 工事積算においても、リサイクル法等の適用によりコスト縮減に努め経済比較を行いながら単価等の決定を行っているので余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 コスト削減のため職員で測量設計を行っており、正職員以外の職員は担当できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域はもとより不特定多数の市民の通行利用する市道の整備である公正性がある。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市道は道路管理者である合志市が管理することとなっており、民間委託等はできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

すべての要望にこたえることは物理的に困難であるが、かといって地域の要望を抑えることはできないので、必要性、地域バランスをより一層考慮しなければならない。
地域住民をはじめ近隣通行者の利便性や交通の円滑化が図られることから、必要な事業であり継続は妥当である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					